

自衛隊が、地球の裏側まで行って米国のために戦争計画

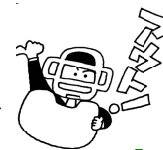
日米両政府は10月8日、「日米軍事協力の指針（ガイドライン）」見直しに向けた中間報告を発表しました。7月1日に閣議決定された集団的自衛権行使容認（※）を前提にした、自衛隊が世界中のどこでもアメリカと一緒に戦争をするという内容です。

集団的自衛権行使容認に、国民の過半数が反対しています。国民の願いに真っ向から反するガイドライン見直しは許されません。

※集団的自衛権行使＝日本が攻撃されていないのに、他国の戦争に参加すること。



国民に真実を知らせず、戦争へ駆り立てる準備が着々



安倍政権は12月10日に秘密保護法を施行するため、運用基準と政令を閣議決定しました。政府に寄せられた2万4000通のパブリックコメントや自民党総務会での「罰則の基準があいまい」「政府が恣意的に情報を隠す」などの指摘はほとんど反映されませんでした。

運用基準では、「米軍との運用協力に関するもの」という項目が加わり、日米軍事協力の計画や研究も秘密指定の対象となることが示されました。ガイドライン再改定や集団的自衛権行使と一体となって、日米戦争体制を強める狙いがあります。

秘密保護法の施行を阻止し、戦争する国づくりをストップさせ、国民の知る権利を守りましょう。

“戦争はいいやや” あなたの声を



安倍政権やめさせる大集会に

11月24日（月・休）
円山野外音楽堂

午後2時開会 集会後デモ

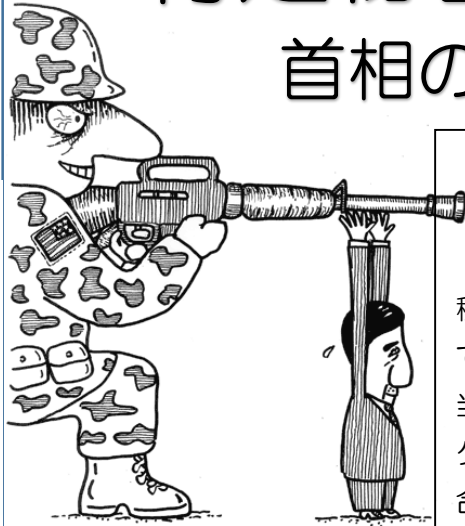
ご存知ですか
京都に米軍基地

京丹後市の経ヶ岬に、米国本土防衛と米世界戦略のための最前線基地、Xバンドレーダー基地が建設されています。160人の米兵・軍属が駐留します。米軍属が、早くも交通事故を起こしています。

府民に隠れて、夜中に搬入されるレーダー



安倍首相「何が秘密か指定するのは私。チェックするのも私」 特定秘密保護法で米軍配備も基地計画も 首相の判断でぜ～んぱ ひ・み・つ♪



昨年12月13日に公布された特定秘密保護法。

安倍内閣は運用基準を決定し、12月10日施行を目指していますが…

国民と情報を共有し、透明性を確保する—。こう豪語した安倍首相。しかし「何が秘密かも秘密」でチェックも何も利かない運用実態がはっきりしました。重層的なチェック体制として、『独立公文書管理監』と『情報保全監察室』の2つの機関が設置されますが、これらの担当者を任命するのはいずれも安倍首相。自分が指定した秘密が妥当かどうか、自分でチェックするだけの、欠陥だらけのチェック体制で突き進もうとしています。時の政府にとって都合の悪い秘密を国民に隠し続けようとする悪法、断固廃止しかありません。

—平和を築くのは、武力ではなく、対話の力・教育の力—

10月10日、ノーベル平和賞がマララ・ユスフザイさん（パキスタン）とカイラシュ・サトヤルティさん（インド）に贈られました。

パキスタンとインドは、国境北部にあるカシミール地方が、どちらのものかを巡って争いを繰り返しています。

緊迫した関係の2国に住む2人の会話を、マララさんはこのように伝えています。

「…両国には対話をし、和平について話し合い、発展について考え、開発を進めていってほしいと思うからです。

戦いではなく、教育や開発、発展に専念することが重要です。それがお互いにとって良いことなのです。

ですから、2人で決めました。カイラシュさんには、インドのモディ首相に12月のノーベル平和賞授賞式に出席するようお願いしていただき、

そして、私もパキスタンのシャリフ首相に出席をお願いすると約束しました。私からも両首相に、共に参加していただくようお願いします。

私は心から平和を信じています。寛容と忍耐（の力）を信じています。

両国が発展するためには平和で良好な関係が何より重要です。

それが、両国が成功し、発展するための道筋です。…」（受賞の日の言葉より）

